

新しい文化会館の整備に関する基本構想(案) 概要版

飯田文化会館は、築51年が経過し、建物や設備の老朽化が進んでいることに加え、バリアフリー化が十分にできていません。また、現ホールの舞台機構が現代的な公演に対応しきれていないなど、多くの課題を抱えています。

飯田市では、引き続き飯田下伊那の舞台芸術の活動拠点として、身近な場所で舞台芸術に触れられる新しい文化会館の整備に向け、令和4年6月に「新文化会館整備検討委員会(市民委員13名、公募委員3名、学識委員3名、計19名)」を設置し、「飯田の文化とは何か」の議論を皮切りに、基本構想を検討してきました。

この基本構想は、新しい文化会館の進むべき方向性を描いたものです。建設に向けて今後策定する基本計画や管理運営計画などの根幹となり、新しい文化会館が開館した後も恒久的に事業や施設運営のよりどころとなるものです。

基本理念

みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば

新しい文化会館は、市民の皆さんが舞台芸術で心が満たされる鑑賞の機会を提供します。そこでは、伝統芸能や人形劇など飯田ならではの文化を発展させ、さらに新たな舞台芸術を創造し、人材育成をも担う施設機能を提供することを目指します。そして、魅力にあふれた「飯田ひろば」を目指し、舞台芸術の振興だけにとどまらず、地域を担う人材を発掘・育成し、文化力の高いまちをつくり、地域発展の活力を生み出すことへとつながっていきます。

【基本理念が描いている新しい文化会館】

- 舞台芸術活動に関心のある方・ない方、年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もが日常的に集って、気軽に交流できる開かれた文化会館
- 市民の方、飯田出身で活躍されている方、飯田に魅力を感じて関わってくださる全国や世界の方々とつながり合い、飯田ならではの舞台芸術を創造し、発信していく場所
- 伝統文化や地域外の文化を取り入れながら独自の文化を生み出す、飯田の特長を後世に伝える場所
- 非日常の舞台に立って、自分の存在や思いを他者に伝える特別な場所
- 舞台芸術活動を担う人を掘り起こし、世代を越えて伝えていく場所

…楽しさや喜びを感じて、より心豊かな人生となってほしい！

誰もが集い、創り、伝える活動がいつも繰り広げられ、ワクワク！ドキドキ！が生まれ続ける飯田ひろば



基本方針と想定する事業

基本理念の実現に向け、5つの基本方針「集う」、「観る」、「創る」、「伝える」、「育む」を掲げ、想定する各事業を互いに連携させながら、飯田らしい活動を展開していきます。

基本方針	方向性・想定する事業
集う	<p>方向性 舞台を演じたり、観たりすることに加えて、舞台や練習の合間に歓談して交流の輪を広げたり、活動のきっかけを見つけたりすることができる施設。さらに、舞台芸術に関心がない方も立ち寄ってみたいとなるような、さまざまな方が日常的に集い、交流できる施設を目指します。</p> <p>想定する事業 交流事業【多様な交流】</p>
観る	<p>方向性 良好な施設環境の中で、音楽、演劇、舞踊、古典芸能、人形劇などの優れた舞台芸術に触れて、心が満たされる鑑賞の機会を提供します。また、さまざまな舞台芸術活動の成果発表や練習風景を観ることで、多くの方が共感し合う場づくりも大切にします。</p> <p>想定する事業 鑑賞事業【多様な公演・市民による発表の鑑賞】</p>
創る	<p>方向性 みんなで共感しながら、さまざまなジャンルの舞台芸術作品を創り出す施設。また、高速交通網社会、高度情報社会のインフラ環境を活用したつながりによって、さまざまな文化的要素を取り入れ、融合させて、飯田ならではの舞台芸術を創造、発信する施設を目指します。</p> <p>想定する事業 創造事業【新しい舞台芸術の創造】</p>
伝える	<p>方向性 自分を表現したり、思いを他者に伝えたりする舞台芸術活動が活発に行われる施設を目指します。市民の舞台芸術活動の思いや熱量、市民による事業の企画運営に関する知識や手法など、飯田の特長を次世代につないでいく活動を大切にします。</p> <p>想定する事業 普及事業【みる・演じる・ささえる市民の拡大】 継承事業【伝統芸能の継承・発展支援】 情報発信事業【多様な情報の収集・発信】</p>
育む	<p>方向性 舞台芸術活動によって、飯田が「文化力の高いまち(文化が人や地域を元気にして、暮らしをより良くしていく力と、人々を魅了する力を持つまち)」として発展することを目指します。ワークショップやアウトリーチ活動によって、舞台芸術の演じ手や支え手の育成に取り組みます。</p> <p>想定する事業 育成事業【演じ手・支え手の発掘・育成】 提供事業【施設の整備・サービスの提供】</p>

今後は基本理念に基づく基本方針の実現に向けて、ホール構成、誰もが立ち寄れるオープンスペース、リハーサルや工作ができる創造支援諸室など、必要な機能の設置や施設諸室の適切な配置などの検討を進め、飯田らしい事業展開ができる施設を目指して整備していきます。